

【音楽（器楽）】

1 採択教科用図書

- 教育芸術社

2 採択理由

（１） 教育芸術社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 楽器の基礎的な知識や奏法で演奏する曲をまとめた「アンサンブルセミナー」と、身に付けた奏法の活用をねらった「アンサンブル」や「楽器でMelody」が設けられるなどの構成・配列の工夫が見られる。また、我が国の伝統音楽については、口唱歌（唱歌）を取り入れたり、「演奏者からのメッセージ」を掲載したりするなど、実感を伴った学びになるような工夫が見られる。
- 「アンサンブルセミナー」は「学習目標」「活動文」「深めよう！ 音楽」によって、見開きで学習を見通せる構成になっており、主体的に学び合う活動が展開できるように工夫されている。また、様々な演奏や動画等を視聴できるQRコードや協働的な活動が展開できる「深めよう！ 音楽」のページが設けられ、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫が見られる。
- 「各部の名称」「姿勢と構え方」等のコーナーがあり、基本的な知識や奏法について、リコーダーの運指表のカラー掲載や替え指の紹介等、主体的に知識・技能を身に付けることができるように工夫されている。

（２） 教育芸術社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 本県出身のギタリストが紹介してあったり、県北地域の郷土芸能に関連深い篠笛や尺八、太鼓等について愛着をもたせる工夫がしてあったり、本地区の生徒にとって魅力的な構成になっている。
- 器楽の学習は技術的なことなど、生徒が新しいものに出会うことが多いが、本教科書はシンプルに教えやすい構成になっており、小規模校においても器楽の指導が行いやすい。

日向市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、教育芸術社の教科用図書が最適であるとして採択した。